

## ヨコハマ<sup>リデュース</sup> R 委員会への提案

(提案者自らが新たな取組を実施していくことを前提とした提案)

テーマ	食べきり協力店モデル事業について	No.	24-A1
提案者	横浜市資源循環局	提案日	平成24年5月18日
<p><b>【概要】</b>          飲食店等において、小盛りメニューの設定や、宴会などの際に適量の料理を提供したり、食べ残しをしないようお店側からの声かけをするなど、食品廃棄物の発生抑制や削減に取り組んでいただける店舗を「食べきり協力店」として登録し、実践をお願いするモデル事業を実施します。</p>			
<p><b>【内容】</b>          (1) 対象施設 ※平成24年 中区生活衛生課飲食店等登録状況より          関内エリアの飲食店・宿泊施設：963事業所          (2) 募集期間          平成24年6月から7月末までの2か月間          (3) 周知方法          記者発表、局ホームページ等          (4) 取組内容(1つ以上を選択して実践する旨を市に申請)          ①小盛りメニュー等の設定          ②持ち帰り希望者への対応          ③食べ残しを減らすための呼びかけ実践          ④ポスター等の掲示による、食べ残し削減に向けた啓発活動の実施          ⑤上記以外の食べ残しを減らすための工夫          (5) 協力店の登録          ①申請書をFAX・郵送・Eメール・持参のいずれかの方法で提出          ②局ホームページで紹介(登録店舗名・登録内容・登録日など)          ③登録ステッカー等の掲示(食べきり協力店のステッカー・ポスターなど)          (6) R委員会への要望          ①ステッカー、チラシの作成          ②Rひろばウェブサイトでの紹介          ③協力店登録協力等</p>			
<p><b>【3Rのポイント】</b>          ・ 食品廃棄物の発生抑制と、食品ロスの削減効果          ・ 環境に配慮した店舗としてのPR効果</p>			
<p><b>【備考】</b>          ・ 食べきり協力店には、2月ごろアンケート調査を行い、アンケート結果の検証を行います。          ・ 平成25年度、全市展開を予定しています。</p>			



ステッカーデザインイメージ

## ヨコハマ<sup>リデュース</sup>R 委員会への提案

(提案者自らが新たな取組を実施していくことを前提とした提案)

テーマ	生ごみの「土壌混合法」の普及促進について	No.	24-A2
提案者	資源循環局	提案日	平成 24 年 5 月 18 日
<b>【概要】</b> 家庭で手軽に生ごみのリデュースができる「土壌混合法」を、広く市民のみなさんに普及させていくことを目指します。			
<b>【内容】</b> 生ごみ減量の 1 手法として、生ごみの土壌混合法を普及していくため、各区における啓発活動の展開や、事業実施に当たったの協力手法等についてご意見をお願いします。  ＜事業内容（予定）＞ <ul style="list-style-type: none"><li>モデル区（南、旭、港北、戸塚）において、ホームセンターやスーパーの店頭などで、土壌混合法の講習会を開催する。</li><li>講習会の講師は、各区において土壌混合法の普及に熱心な市民が努める。</li><li>モデル区において、講習受講者を対象にモニター追跡調査を実施し、土壌混合法の取組の実態を把握する。</li><li>講習会の開催や土壌混合法の説明について、DVD、チラシ、ホームページなどでPRを行う。</li></ul> ＜支援を希望する内容＞ <ul style="list-style-type: none"><li>土壌混合法に関する広報の拡充。（ヨコハマRひろばウェブサイトでの紹介、市民や顧客向け広報紙への掲載 等）</li><li>各委員の所属団体内部でのPR。</li><li>その他、普及啓発等に関するアイディアの提供。</li></ul>			
<b>【3Rのポイント】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>燃やすごみのうち 30%以上を占めている上、水分を多く含んでいる生ごみを各家庭で土壌化すれば、その分のごみが減り、リデュースに大きくつながる。</li><li>土壌混合法では、土の量が増えないことから、各世帯で循環を形成してリデュースの取組ができる。</li><li>やむを得ず出てしまった生ごみも、良質な土へとリサイクルできる。</li><li>生成された土は、栄養分が豊富であるため、園芸に使用するなどの用途も生まれ、リユースできる。</li></ul>			
<b>【備考】</b>			